

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	神戸親和女子大学文化総部 ユネスコクラブ
活動テーマ	東北ボランティアプロジェクト

東北現地訪問ボランティア活動を終えて（3月）



東松島市 矢本応急仮設住宅を訪問して



手作りの布製カレンダー



子どもたちが帰ってくる前に最後の練習！



神戸親和女子大学ユネスコクラブでは、1985年設立後、地域の子どもたちを対象に、様々なボランティア活動を続けてきましたが、2012年、当時の部長から東日本大震災の被災地の方々への支援について提案がなされ、東北ボランティアプロジェクトがスタートしました。活動当初は、大学生に何ができるのか、また、かえって迷惑になるのではないかと訪問することに不安もありましたが、一度訪問して、被災地の現状を目の当たりにすると、まだまだ、東北は支援を必要としているということを、初回参加メンバーは全員心に深く感じました。

夏には諸事情から参加できなかった学生も、春休みには是非現地を訪問したいということで、春季の企画も立ち上げて実施し、震災被害と復興の現状への理解を深めました。以来、年度内に8月と3月の2回、4泊5日の行程で東北を訪問したり、クリスマスには手作りのおもちゃなどを作成して、訪問させていただいている8施設の子どもたちにプレゼントしています。今回助成をいただき、無事に5回目、6回目を実施できましたが、今では、実際に東北を訪問し、現地の子どもたちや子どもたちを支えようと奮闘しておられる職員の方々と交流を持ち続けることこそが、私たち大学生にできるひとつの東北の支援のあり方ではないかと考えています。

私たちの東北支援は、震災のことを忘れず心に留め、現地を訪問し続けて、現地の子どもたちや職員の方々と直接会って、直接触れ合うことです。こうした関わりを続けることで、心の繋がりが生まれ、復興への気持ちの面からの支援に繋がればと願っています。